

福岡市設計測量業協会の平成28年度通常総会開く

受注拡大や社会貢献活動などの新年度事業計画と尾川会長の再選など新役員を決める



新年度事業計画や予算、役員改選等を決めた平成28年度通常総会

(一社)福岡市設計測量業協会(尾川昇会長 会員74社)の平成28年度通常総会は24日、福岡市のアークホテルロイヤル福岡天神で開き、協会の棲み分けなど課題解決に向け、積極的に挑戦し、受注機会の拡大に努め、専門集団として更なる技術の研鑽を積み重ね、地域に精通した企業特性を発揮し、協会員としての役割を果たしていくなどの新年度事業計画を決めたほか、任期満了に伴う役員改選では尾川昇会長、米倉隆盛副会長の再選、田中新一副会長の新任など新役員を選出した。

総会は船津事務局長が司会進行し、米倉副会長(第一総合技術株)の開会あいさつに続いて、尾川会長(都市企画センター株)が「熊本地震により、お亡くなりになられた方々には深く哀悼の意を表すとともに、被災者には謹んでお見舞い申し上げます。当協会も福岡市を通じて、お見舞金を寄付させていただきました。市民の皆様が安心、安全の暮らしができますように、飲酒運転の撲滅運動、防災協定の順守、道路危険個所の調査報告など他の業者にできない成果を出すことができました。おかげで、協会員の平均受注額もプラスであります。測量関係につきましては基準点等の亡失とか、国土調査の拡大を要望していきたいと思っています。地震の恐れが増々



再選の尾川会長

高まる中、地籍調査はぜひ必要です」などと挨拶した。



新会長と副会長

このあと、岩永文夫氏（エコーエンジニアリング㈱）を議長に選出。①平成27年度事業報告、②平成27年度収支決算報告、③監査報告を承認。任期満了に伴う役員改選では役員選挙管理委員会（木村麟太郎委員長）を設置して選考された設計部門理事6人、測量部門理事6人、監事1人が承認され、理事の互選で、会長に尾川昇氏（再任）、副会長に米倉隆盛氏（再任）と田中新一氏（新任）、

外部監事として池田眞敏氏（新任）を決めたあと、平成28年度取組方針（事業計画）や平成28年度収支予算案を審議し、いずれも原案通り承認した。引き続き、新役員紹介と退任役員への感謝状贈呈、退任役員を代表して大曲秀美氏（太洋建設コンサルタント㈱）が謝辞を述べた後、防災委員長の福澤一博理事（スリーエヌ技術コンサルタント）が「危険個所の調査」について報告、宗道昭理事（㈱昭和建設コンサルタント）の先唱で全員が「飲酒運転撲滅宣言書」を読み上げて決意を新たにし、田中副会長（㈱アイエスプランニング）の閉会の辞で総会を終えた。

平成28年度事業計画では、福岡市と締結した防災協支援活動に関する基本協定書を基盤に万全の体制を整えると共に、「見える化」を図るための社会貢献活動として、これまでの活動を地道に継続し、行政当局の信頼確保に努める。貢献活動は①市内道路に関する危険個所の調査・報告等、②飲酒運転撲滅に関する宣言及び大会等への参画、③街区基準点（公共基準点）の管理・運用等。また、政策要望として協会の棲み分けなど山積する課題の解決に向け、積極的に挑戦し、受注機会の拡大に努める。さらに、当協会が専門集団として更なる技術の研鑽を積み重ね、優れた成果を追求するとともに、地域に精通した企業特性を發揮し、協会としての役割をしっかりと果たしていくなどとしている。



新役員紹介



退任役員への感謝状贈呈

再選された尾川会長は役員紹介や懇親会の挨拶で「行政と一体となり、社会貢献としての飲酒運転の撲滅運動や防災協定の順守、道路危険個所の調査報告等を実行し、確実に数字として表れてきました。これはスタートラインであり、福岡市の地元企業が一体となることが最終目標であり

ます。一歩ずつ、確実にその目標に向かって進みたい。福岡市内の業者さんが1社でも多く参画し、将来は他企業とのコラボレーションで防災協力会員として大きな組織を構築し、行政の方々とも一体となり、災害に強い福岡市のまちづくり、安心、安全のまちづくりに貢献していきたい」などと抱負を述べた。

「新役員」

▽会長＝尾川昇氏（都市企画センター㈱）　▽副会長＝米倉隆盛氏（第一総合技術㈱）、○田中新一氏（㈱アイエスプランニング）、▽理事＝宗道昭氏（㈱昭和建設コンサルタント）、福澤一博氏（㈱スリーエヌ技術コンサルタント）、小玉純士氏（ダン技術設計㈱）、高瀬義晴氏（メック㈱）、上野稔氏（㈱アオイ）、紫村浩明氏（㈱コンテック）、矢野光氏（㈲光陽測量設計）、石井恒央氏（大光技術コンサルタント㈱）、江口浩氏（㈱プライム技術開発）、▽監事＝細川昇二氏（共和航業コンサルタント㈱）



全員で飲酒運転撲滅を宣言し、決意を表明した。

「退任役員表彰」

川崎信三氏（大正測量設計㈱）、小倉忠彦氏（㈱アースプランニング）、松本秀満氏（㈱エムテックエンジニアリング）、大曲秀美氏（太洋建設コンサルタント㈱）、叶信彦氏（九州コンサルタント㈱）、高橋義信氏（高橋公認会計士事務所）

社会貢献活動など推進 福岡市設計測量業協会



（一社）福岡市設計測量業協会（尾川昇会長）は24日、平成28年度通常総会（写真）を福岡市中央区のアークホテルロイヤル福岡天神で開催した。

総会では、福岡市と締結した防災協定の遵守、

社会貢献活動の推進など28年度の取組方針（事業計画）を決めたほか、任期満了に伴う役員の変更では尾川会長を再選した。

冒頭、尾川会長は「市民が安心・安全に暮らせるよう市との防災協定や

飲酒運転撲滅活動を通じて、社会貢献していきたい。道路危険箇所調査は我々市測協にしか出来ないことで、これからも継続していく。業界は今後、若手の育成をどうしていくのか真剣に考える必要がある。国土調査の拡大を要望するなど新規事業を増やし、経営の安定化を図らなければいけない。会員一同団結して頑張っていこう」とあいさつ。また、熊本・大分で発生した地震について触れ、福岡市を通じて見舞金を被災地に送ったことを会員に報告した。

議事では、エコーエンディング(株)の岩永文夫社長を議長に選出し、平成27年度事業・収支決算報告などを審議、原案通り承認した。

任期満了に伴う役員の変更では、尾川会長と米倉副会長を再選し、新たに田中新一氏(株)アイエスプランニング)を副会長に選んだ。

28年度事業計画では①飲酒運転撲滅大会への参加や市内道路の危険箇所調査など社会貢献活動の推進②街区基準点の管理運用③測量の日記念行事の開催④会報誌「市測協だより」の発行⑤各種技術研修会・講習会の開催⑥などを実施する。

総会終了後には、福岡市関係者や賛助会員らを招いて懇親会も開かれ、官民一体となって業界を盛り上げていくことを確認した。